

中学生及び中学校教諭による水辺活動（ヨット学習）の評価

千足耕一

Kouichi CHIASHI

目 的

鹿屋体育大学海洋スポーツセンターでは平成11年度より3年間、大学等地域開放特別事業で水辺活動体験－鹿屋市立高須中学校ヨット学習－を実施し、この事業を引き継いだ形で、高須中学校の総合学習の一環として位置づけられているヨット学習を継続してきた。平成11年からの3カ年は事前・事後の調査を行い報告書として発行してきた。平成14年以降においては、14年度には感想文を記入してもらい、15年にはヨット学習による海のイメージの変容に関する調査を実施してきた。平成16年度は中学生によるヨット学習の評価について調査を試みた。次年度からの事業改善に向けた基礎的な資料を作成することが目的である。

ヨット学習事業の概要

ヨット学習は表1のような日程で実施された。6月中旬の職員を対象とした研修から始まり、事前実習、本実習、事後学習という流れで進められた。鹿屋体育大学海洋スポーツセンターでは職員ヨット研修から1・3年生ヨット学習までを実施し、事後学習は高須中学校において行われた。

表1 平成16年度ヨット学習の概要

活動名	期日	場所	結果	備考
職員ヨット研修	6月16, 23, 24日	海洋スポーツセンター	ほぼ予定通り実施	小雨決行
ヨット学習事前学習	7月1日(木) 5・6校時	海洋スポーツセンター	予定通り実施	小雨決行
2年ヨット学習	7月7日(水) 一日	海洋スポーツセンター	予定通り実施	小雨決行
1・3年ヨット学習	7月8日(木) 一日	海洋スポーツセンター	予定通り実施	小雨決行
ヨット学習事後学習	7月9日(金) 5校時	各教室	予定通り実施	PTA 授業参観

方 法

中学生による授業評価については、ヨット学習終了後に中学校の各クラス担任が配布・回収する形で調査を実施した。調査用紙は参考資料1の通りであり、無記名で行うもので

ある。

高須中学校に所属し、ヨット学習を受講した41名のうち、事後学習に参加した40名の回答について分析を行った。

結果と考察

1. 調査結果

ヨット学習の評価についての調査用紙は39名から有効回答が得られた。内訳は、1年生が14名(35.9%)、2年生が11名(28.2%)、3年生が14名(35.9%)であった。また、性別では男性が19名(48.7%)、女性が20名(51.3%)であった。

表2 中学生によるヨット学習の評価(数字は%)

	V1	V2	V3	V4	V5	V4+V5
(目標に関する項目)						
1. ヨットの基礎的な技術が習得できた	0.0	5.1	28.2	33.3	30.8	64.1
2. 海洋スポーツを行う上でのルール、エチケット、マナーが理解できた	2.6	5.1	25.6	30.8	35.9	66.7
3. ヨットの理論が理解できた	5.1	10.3	30.8	33.3	20.5	53.8
4. 自然環境を認識することができた	0.0	5.1	20.5	41.0	33.3	74.3
5. 危険性の認識と自己の安全の確保について理解できた	0.0	5.1	15.4	41.0	38.5	79.5
6. 友人や教師とのコミュニケーションについて理解できた	0.0	7.7	12.8	30.8	48.7	79.5
7. ヨット学習を通して協力・協調の必要性について理解できた	0.0	2.6	20.5	33.3	43.6	76.9
8. 新しい技術が獲得できた	0.0	10.3	17.9	23.1	48.7	71.8
9. ロープワークが身に付いた	7.7	7.7	23.1	33.3	25.6	58.9
10. ヨット学習中は主体的に行動できた	0.0	7.7	28.2	30.8	33.3	64.1
(技術の習得に関する項目)						
11. ヨットの基本操作(セーリングや方向転換)が習得できた	0.0	10.3	17.9	30.8	41.0	71.8
12. カヌーの基礎技術(出艇・パドルング・方向転換・着艇)が習得できた	0.0	5.1	25.6	10.3	43.6	53.9
13. スキンダイビング技術(スノーケル呼吸・フィンの使用等)が習得できた	0.0	2.6	28.2	30.8	23.1	53.9
14. 運動量は十分に確保されていた	0.0	5.1	23.1	25.6	46.2	71.8
15. 理論と実技を関連づけて学習できた	2.6	15.4	17.9	41.0	23.1	64.1
(方法に関する項目)						
16. 事前学習は良かった	5.1	5.1	12.8	30.8	46.2	77.0
17. 事前学習の班分けの方法は適切であった	2.6	5.1	17.9	28.2	46.2	74.4
18. 当日の班分け方法は適切であった	2.6	7.7	15.4	15.4	59.0	74.4
19. 補助員の指導方法は良かった	0.0	7.7	10.3	7.7	74.4	82.1
20. 時間配分は適切であった	0.0	2.6	17.9	38.5	41.0	79.5
21. テキストは適切であった	0.0	7.7	15.4	38.5	38.5	77.0
(その他)						
22. ヨット学習は創造性に富むものであった	2.6	5.1	17.9	35.9	38.5	74.4
23. 教師やスタッフは十分な知識を持っていた	2.6	0.0	10.3	33.3	53.8	87.1
24. 教師やスタッフは十分に準備し熱意を持っていた	2.6	2.6	10.3	28.2	56.4	84.6
25. 生徒間のコミュニケーションは十分であった	0.0	5.1	12.8	17.9	64.1	82.0
26. 生徒と教師とのコミュニケーションは十分であった	2.6	5.1	12.8	35.9	43.6	79.5
27. ヨット学習から自分の期待していたものが満足された	2.6	5.1	7.7	17.9	66.7	84.6
28. 楽しく学ぶことが出来た	2.6	5.1	0.0	0.0	92.3	92.3
(生徒自身について)						
29. 私は、ヨット学習を通して真剣に学ぼうと努力した	2.6	5.1	7.7	28.2	56.4	84.6
30. 私は、ヨット学習を後輩に薦めたい	2.6	10.3	7.7	23.1	56.4	79.5

V1:全くあてはまらない、V2:あまりあてはまらない、V3:どちらでもない、V4:かなりあてはまる、V5:非常にあてはまる
(V4+V5:かなりあてはまる+非常にあてはまる)

30の質問項目のうち、「28. 楽しく学ぶことができた」が92.3%の肯定率で最も高く、「23. 教師やスタッフは十分な知識を持っていた(87.1%)」、「27. ヨット学習から自分

の期待していたものが満足された (84.6%)」、「24. 教師やスタッフは十分に準備し熱意を持っていた (84.6%)」、「私は、ヨット学習を通して真剣に学ぼうと努力した (84.6%)」、「19. 指導員の指導方法は良かった (82.1%)」、「25. 生徒間のコミュニケーションは十分であった (82.0%)」の6項目についても肯定率が80%を超えていた (表2)。

逆に、「4. ヨットの理論が理解できた (53.8%)」、「12. カヌーの基礎技術が習得できた (53.9%)」、「13. スキンダイビング技術が習得できた (53.9%)」、「9. ロープワークが身に付いた (58.9%)」では肯定率が6割を下回り、改善の余地があると判断できた。ヨットの実践に至るまでの段階で、セーリングに関する理論を理解したり、ロープワークを身につけたりするための準備的な学習の充実が求められる。カヌーやスキンダイビングに関連する項目について肯定率が低かったのは、それらを経験しなかったため調査に記入しなかった生徒もいたことも一因であろう。しかし、事前学習ではカヌーやスキンダイビングに関する解説等を行っていないことから、水辺活動に関する全般的な知識について学習をする機会を設けることが必要であると考えられる。

ヨット学習の総合評価については表3のとおりであり、「まあ良かった」と「非常に良かった」と回答した者を加えると84.6%を示した。

表3 中学生によるヨット学習の総合評価

非常に悪かった	2.6
少し悪かった	0.0
普通	7.7
まあ良かった	25.6
非常に良かった	59.0

(数字は%)

2. 中学生による自由記述

ヨット学習の「良かった点」、「改善すべき点」、「改善するための方法」について自由記述を求めた。それらをまとめると以下のものである。

.....

◆ ヨット学習でどの点が最も良かったと思われますか

(3年生)

- ・ 優しく教えてくれた
- ・ バナナボート、ヨットの操作ができたこと
- ・ みんなで協力してヨットを機装できたこと
- ・ 乗るところ (自分で操作するところ)
- ・ ヨットに乗ること
- ・ とにかく楽しかったことが良かった
- ・ バナナボートが良かった

- ・ 分かりやすく指導してもらえたこと
 - ・ ヨットに乗れて良かった
 - ・ ヨットだけではなく、カヤックやスキンダイビングが出来たこと
 - ・ 楽しく活動できたこと
 - ・ 体育大学のお兄さん達が一緒に遊んでくれること
 - ・ スキンダイビングが良かった
- (2年生)
- ・ 一緒に乗ってくれた人が、面白く優しく教

えてくれた

- ・ 沈没しなかった
- ・ 体育大生の皆さんと楽しく学べた
- ・ ヨットに乗って大学の方々と交流したこと
- ・ カヌーなど色々なことを体験できた
- ・ 友達とコミュニケーションがとれたし、補助員の方も詳しく、面白く、教えて下さって嬉しかった
- ・ スタッフなどの指導が良かった
- ・ スタッフの方が丁寧に教えて下さったこと
- ・ 大学生の方々が親切に教えて下さったことやすべてが楽しかったこと
- ・ ヨットに乗ったり遊んだりしたこと
- ・ 方向転換など
- ・ ロープワーク・方向転換

(1年生)

- ・ ヨットだけではなく、スキンドайビングなどがあった良かった
- ・ みんなで楽しく学べた
- ・ 少しでもヨットの基本動作をすることが出来た
- ・ みんな仲良くなった
- ・ ヨットの方向転換のところが良かったと思う
- ・ ヨットだけではなく、カヌーも出来て良かった
- ・ 方向転換がちゃんと出来た
- ・ 方向転換や、セーリングのことについてよく分かった
- ・ シーカヤックやヨットが体験できて良かったです
- ・ カヌーのこぎ方の教え方が良かった
- ・ バナナボートがあった点良かった
- ・ ヨットの他にもいろいろあって良かった
- ・ 自然にふれあうこと
- ・ バナナボートが良かった
- ・ 優しく丁寧に教えてくれた

◆ ヨット学習でどの点が最も良くなかったと思われますか

(3年生)

- ・ カヌー
- ・ 自分から進んで行動していない人がいたこと
- ・ カヌーはあまり楽しくなかった
- ・ カヌーは楽しくなかった
- ・ 時間が少ないので、2日間ぐらい活動してもっといろんなことをしたかった
- ・ カヌーは面白くなかった
- ・ 班がよくない
- ・ ヨットの操作ができなかったこと
- ・ ヨット

(2年生)

- ・ 少しけがをしたこと
- ・ 終わって気を抜いて、けがをしてしまったこと
- ・ 風が吹かなかったこと
- ・ ピンチになったとき、舵を離してしまった
- ・ タックが上手に出来なかった
- ・ 2、3回しか乗らなかった
- ・ 風があまり吹かなかった

(1年生)

- ・ 変わらなかった
- ・ 進んで色々なことが出来なかった
- ・ 言われたことをなかなか実行できなかった
- ・ 舵の操作ができなかった
- ・ 飲み物を飲む時間が少なかった
- ・ 時間が少なかった

◆ 改善するためには、どうするのが一番良いと思われますか

(3年生)

- ・ カヌーをしな
- ・ 自分がしなければいけないことを知ること
- ・ 2日間する

- ・ カヌーに乗らない
 - ・ 班分けをもっと考える
 - ・ しっかり操作の仕方を見て学ぶ
 - ・ みんな楽しむ
 - ・ ヨットをやめてウィンドサーフィンにする
- (2年生)
- ・ けがをしないように気をつけて楽しむこと
 - ・ 家や学校に帰り着くまで、気を抜かないこと
 - ・ 風の吹いた時にやる
 - ・ 落ち着いてタックをして、風向きを考えて操作する
 - ・ 来年出来るようにする
- (1年生)
- ・ 来年の学習を楽しく一生懸命する
 - ・ 風が吹く日にする
 - ・ 自分出来ることは進んで出来るようにすること
 - ・ 自分達の一つ一つの行動をてきぱきとする
 - ・ 時間を多くする
- ◆ その他、気づいたこと
- ・ もっと泳ぐ時間がほしい
 - ・ もっと泳ぐ範囲を広げてほしい



3. 教員によるアンケートのまとめ

中学校の教員を対象に、ヨット学習終了後に担当教諭が調査を行った。それらの回答は以下のものであった。

活動時期について

- ・ 梅雨、台風等の影響が心配される時期であるが、学校の行事等を考えると最も良い時期だと思います。
- ・ 今まで通りでよい
- ・ 6～7月中がよいと思います
- ・ 特別、行事にもかかわらず良かった
- ・ 今の時期、もしくはあまり日差しの強くない6月下旬でもいいかと思う
- ・ 現状通りがベストと考える

職員ヨット研修について

- ・ ある程度経験がある職員の場合は、半日ほどで勤を取り戻すかもしれませんが、初めての職員の場合はもう少し時間をとって良いと考えます（ただし、必要があれば）
- ・ 今まで通りでよい
- ・ 教員も指導ができ、ヨットに興味を持つように、職員の研修も必要だと思います。
- ・ 今年はついにヨットに乗れるようになって良かった
- ・ 現在のような形で良いのではないか

- ・ 1人一回の研修では体得が難しいのが現状と思います。もう少し研修を増やす必要もあると思いますが、スケジュール的には今まで通りが良いと思います。

ヨット学習事前学習について

- ・ 1年生は初めてということもあり、2時間程度ではロープワーク、艀装、解装、操艇など中途半端に終わったように感じます。学校の方で時間をとり、ロープワークは覚えさせてもよいのではと思います。
- ・ 暑い時間帯なので午前中だとい
- ・ ヨット学習を始めるにあたっての心構えとして、事前学習が必要だと思います
- ・ ヨットの各部の名称、理論なども学習する機会がどこかであればいいと思う
- ・ ロープワーク等、学校でできる事前学習をもう少し増やすことも必要。また、大学の施設を借用するにあたっての準備・清掃なども取り入れるべきではないか

ヨット学習（海上演習）について

- ・ 少々、波は高かったが、ほどよい風が吹き、生徒だけでの操船も上手くできていて良かったと思う。
- ・ もう少し、早く終わってくれるといい。（3時くらい。帰りの会がバタバタだから）
- ・ いろいろな海上体験ができてとても良かったようです。生徒にとっても素晴らしい体験ができたようです。
- ・ 現在のような形で良いと思う。
- ・ たくさんの活動ができて良かった。

事後学習について

- ・ ヨット学習全般について感想文を書かせた。ほぼ全員（1年生）が「楽しかった」「来年もやりたい」と述べていました。
- ・ 今まで通り、作文だけでなく、広幅用紙にまとめても楽しそう。（時間があれば）
- ・ 子供たちの感想を聞くために、事後学習は必要だと思います。
- ・ 現在の形で良いと思う。
- ・ もう少し時間をとって、学年ごとの事後学習を充実させても良いと思う。

大学の先生方、学生スタッフとの協力体制・連携について

- ・ 事前準備、学習中の指導ともに協力的かつ熱心でした。ヨット学習がスムーズに進められたことに感謝します。
- ・ 親切でわかりやすかった
- ・ 全面的な協力をただただ感謝するばかりです
- ・ 大学の先生や大学生が協力的であり良いと思う。異年齢との交流の場が少ないの

で積極的に推進すべき

- ・ 大変協力的で感謝しています

今後の改善点、気づいた点など

- ・ ヨットだけでなく、カヤック、水中観察など水辺活動を生徒も職員も十分楽しんで良かったと思います。
- ・ 特色のある活動なので残していきたい
- ・ もっと充実していけば高須の素晴らしい教育になると思います
- ・ とても暑いので熱中症などにならないよう、どこかで水分補給するなどの時間をとったほうがいいかも。
- ・ 大学の先生方と連携し、情報交換の中でいろいろな工夫をしていくべき。

まとめと今後の課題

事業改善にむけた基礎的な資料を作成することを目的として、中学生によるヨット学習の評価について調査を試みるとともに、中学校教諭によるヨット学習に対する意見をまとめた。

ヨット学習の評価は85.7%の生徒が「良かった」と評価しており、教諭の意見においても現状を肯定している。大学共同利用機関が地域社会の子供たちに多彩な活動を体験できる機会を提供している本事業を、今後も改善を重ねながら継続していけるように、大学、中学校が相互に意見交換を行っていかなければならない。

本調査で得られた中学生および中学校教諭の事業に対する意見を、今後の事業改善の資料として役立てて行きたいと考えている。

文献

- 1) 本間崇・千足耕一・布目靖則・南 隆尚、正課体育スキー実習における学生による授業評価、筑波大学体育センター 大学体育研究 第17号：37-48、1995。
- 2) 鹿屋体育大学海洋スポーツセンター、平成13年度大学等地域開放特別事業（大学子ども開放プラン）、水辺活動体験—鹿屋市立高須中学校ヨット学習—報告書、2001。

(資料1・調査用紙)

平成16年度「ヨット学習」に関する調査

この調査は、総合学習(ヨット)を改善していくための資料とするものです。皆さんの率直な意見をお聞かせ下さい。成績には関係がありません。あてはまる数字に○をつけてください。

あなた自身について回答して下さい(無記名です) 学年()年 性別(男・女)

- | |
|----------------|
| 5・・・非常にあてはまる |
| 4・・・かなりあてはまる |
| 3・・・どちらでもない |
| 2・・・あまりあてはまらない |
| 1・・・全くあてはまらない |

(1) 授業の目標に関して					
1. ヨットの基礎的な技術が習得できた	5	4	3	2	1
2. 海洋スポーツを行う上でのルール、エチケット、マナーが理解できた	5	4	3	2	1
3. ヨットの理論が理解できた	5	4	3	2	1
4. 自然環境を認識することができた	5	4	3	2	1
5. 危険性の認識と自己の安全の確保について理解できた	5	4	3	2	1
6. 友人や教師とのコミュニケーションについて理解できた	5	4	3	2	1
7. ヨット学習を通して協力・協調の必要性について理解できた	5	4	3	2	1
8. 新しい技術が獲得できた	5	4	3	2	1
9. ロープワークが身に付いた	5	4	3	2	1
10. ヨット学習中は主体的に行動できた	5	4	3	2	1
(2) 技術の習得に関して					
11. ヨットの基本操作(セーリングや方向転換)が習得できた	5	4	3	2	1
12. カヌーの基礎技術(出艇・パドリング・方向転換・着艇)が習得できた	5	4	3	2	1
13. スキンダイビング技術(スノーケル呼吸・フィンの使用等)が習得できた	5	4	3	2	1
14. 運動量は十分に確保されていた	5	4	3	2	1
15. 理論と実技を関連づけて学習できた	5	4	3	2	1
(3) 授業の方法に関して					
16. 事前学習は良かった	5	4	3	2	1
17. 事前学習の班分けの方法は適切であった	5	4	3	2	1
18. 当日の班分け方法は適切であった	5	4	3	2	1
19. 補助員の指導方法は良かった	5	4	3	2	1
20. 時間配分は適切であった	5	4	3	2	1
21. テキストは適切であった	5	4	3	2	1
(4) その他					
22. ヨット学習は創造性に富むものであった	5	4	3	2	1
23. 教師やスタッフは十分な知識を持っていた	5	4	3	2	1
24. 教師やスタッフは十分に準備し熱意を持っていた	5	4	3	2	1
25. 生徒間のコミュニケーションは十分であった	5	4	3	2	1
26. 生徒と教師とのコミュニケーションは十分であった	5	4	3	2	1
27. ヨット学習から自分の期待していたものが満足された	5	4	3	2	1
28. 楽しく学ぶことが出来た	5	4	3	2	1
次の2項目は、生徒であるあなた自身についてお答え下さい。					
29. 私は、ヨット学習を通して真剣に学ぼうと努力した	5	4	3	2	1
30. 私は、ヨット学習を後悔に陥りたい	5	4	3	2	1

以下の点について自由に記述して下さい。

○ヨット学習でどの点が最も良かったと思えますか

○ヨット学習でどの点が最も良くなかったと思えますか

○上記の点を改善するためには、どうするのが一番良いと思えますか

○その他気づいたことがあれば何でも自由に記述して下さい(用紙のウラに記入下さい)

ヨット学習の総合評価は？(あてはまるところに○をつけて下さい)

5 非常に良かった 4 まあ良かった 3 普通 2 少し悪かった 1 非常に悪かった

(ご協力ありがとうございました)